

# 愛知県医師連盟ニュース

発行所  
愛知県医師連盟  
〒460-0008  
名古屋市中区栄4の14の28  
愛知県医師会館内  
TEL052(251)2500

## 参議院選挙の結果と当連盟の新執行部について

第24回参議院議員通常選挙は平成28年7月10日に投・開票が行われ、日本医師連盟参与の自見はなこ候補が見事初当選されました。また7月21日開催された愛知県医師連盟執行委員会において委員長及び役員を選出が行われ、柵木委員長を始め4人の副委員長など新執行部が選出されましたのでご報告いたします。



### ご挨拶

愛知県医師連盟  
委員長 柵木 充明

### 「選挙戦を振り返って」

自見はなこ氏を医師連盟の組織候補として統一一本化し、ノミネートしてから約1年半、十分な助走期間を終え、7月10日投票の第24回参議院選挙を迎えました。前回の羽生田選挙よりも大幅に得票増、高い順位で当選するだろうとの見通しでした。

羽生田選挙が全国で約25万票、愛知県で約9,800票、党内候補中6位でしたので、今回は全国で30万票、愛知で15,000票、少なくとも前回よりも相当高い順位での当選を予測していました。

ところが投票日直前に、自民党は18～19議席、なかでも自見はなこ候補はギリギリの17位か18位だとの噂が漏れ聞こえてきました。まさかギリギリなどということはなかろう、とたかを括っていましたが、実際の開票結果を聞くまでは不安を隠すことはできませんでした。NHKで「当確」がでたのが午後8時の開票後比較的早い時間でしたので、やっぱり予想通りか、と一安心し、最終結果を待ちました。

結局、愛知県で6,670票、全国で約21万票、自民党の比例順位で9位というものでした。これが今回の選挙の現実でした。一応当選は確

保し、議席を得ることはできましたが、3年に1回まわってくるこの選挙を業界の政治力アピール競争と捉えれば、明らかに力不足を世にさらしたということがいえると思います。

横倉連盟委員長は「日医連組織内候補で初当選した自見はなこ候補をはじめ、医療・介護関係団体の組織内候補が比例代表を合計して90万票以上集めたのは国民の医療・介護への関心が高い証拠だ」とコメントしていますが、医師会票が医療系候補の中で相対1位になったことで良しとしているようにもみえます。また、横倉委員長の出身母体の福岡県をはじめ九州各県はよく健闘しました。これも苦い感想とならない理由かもしれません。

日本医師会も改選期にあたり、参院選の最後の追い込みの時期に全力を振り絞れる体制になかったのかもしれませんが、考えてみれば3年に1回は参院選が、そして2年に1回は改選期にあたり、6年毎に両者が一致します。新しい公益法人になって参議院選と医師会の選挙がほとんど同時期になることを予め想定して対策を立てておく必要があります。

得票数が25万から21万に下がったことについて、全国各都道府県、県下市町村の自見票の獲得状況を比較して見たいと思います。

6年前の民主党政権時の分裂選挙は参考にならないため、3年前の羽生田選挙と比較します。群馬で3.8万票減らし、福岡で1.6万票増やしており、羽生田氏、自見氏いずれも親が政治家であり、その地盤が大きく影響していると思われます。差し引き2.2万票これが羽生田選挙から減らした実質的な票数です。約10%減、中部医連の県はおしなべて大きく票を

伸ばしていましたが、後の府県は全体的に少しずつ票を減らしています。

愛知県では前回の9,822票から6,670票と30%も減りました。率直に言って完敗というか、失態です。

県下の医師会、地区別では名古屋が20%減、尾張、三河がそれぞれ判を押したように40%減です。

名古屋地区は前回と同様、愛知県医師連盟は直接タッチすることなく名古屋市医師連盟にお願いしていました。名古屋市医師連盟の減り具合が全国の傾向を表しており、尾張、三河の40%減は明らかに愛知県医師連盟の力不足です。

省みて今回の選挙、3つの点で油断する原因があったと思っています。

その1つは候補者が比較的早い時期に一本化して選定されていた点です。羽生田氏が選挙の半年前であったのは異なり、1年半前に選定を終えており、その間医師会の重要な会合にはこまめに顔を出されていたため、会員の中での知名度は相当高くなっていると考えていました。

第2点として自見氏は経歴や人格また年齢、性別から言っても羽生田氏よりも会員に対するアピール力は断然勝っていると考えていました。

そして最後に今回の選挙では歯科医師会が不祥事の関係で組織候補を出すことができず、自見氏に推薦をいただけたことです。前回愛知県で歯科医師会の組織候補に2.2万集票しており、その一部でも回せてもらったらと地区医師会を含めてお願いし、手応えを感じていました。

こうしたことから慢心がありました。さほど動かなくても前回以上の得票は可能だ、と信じ、危機感が欠け、その分選挙活動に手抜きがあったことは認めなければなりません。

私が連盟活動に携わるようになってから前々回の民主党政権時の選挙を除いて3年に1度の参院選については詳細な活動記録を残しています。これらの記録を見ると、明らかに今回の選挙は様々な点においてやるべきことがやられていません。今回もそれも踏まえて「大失態の経験」としてしっかり記録に残しておきたいと思います。

組織の活動においては、「すべきことをしなければ必ずしっぺ返しがかかる」。今までの人類の歴史の中で最も頻繁に言い伝えられてき

た言葉です。会社ならそのうち倒産しますし、ビルなら手抜き工事で倒壊します。病院なら命に関わる大きなミスを犯して指弾を浴びます。

3年に1度の参院選は世間に医師連盟という組織の存在をアピールする大切な行事です。医師連盟会員の結束を問う場でもあります。すべきことをせず、他人の禰で相撲を取るなどと言う、さもしい心が今回の結果を招いたことと認め、心から反省し、これからの医政活動に励みたいと思っています。

そうした執行部をはじめとする全体の風潮の中でしっかり気を吐いていただいた会員、地区医師会には心より感謝申し上げます。

## 第24回参議院議員通常選挙を振り返って



愛知県医師連盟  
副委員長  
選挙対策委員長  
山本 楯

第24回参議院議員通常選挙では日本医師会は早くから自見はなこ氏を日本医師連盟推薦候補として応援してきました。愛知県医師連盟の皆様にはサポーター名簿の作成、各種集会への動員などご協力いただきありがとうございました。特に6月16日の自見はなこ氏を伴っての各地巡りの際には多数の動員をしていただき自見氏も大変喜んでおられました。また7月1日の選挙カーでの各地巡りでは仕事で忙しいさなか、多くの会員や病院職員を動員していただきありがとうございました。改めてお礼を申し上げます。

今回の目標は前回の羽生田俊参議院議員を上回る得票数を獲得することでありましたが、結果は9位当選の約21万票でした。特に愛知県においては前回を上回る15,000票を目標に掲げたが結果は6,670票と前回の9,822票に遠く及ばなかったことは私の不徳の致すところと深くお詫び申し上げます。

今後の選挙活動に生かすために現在行われている非拘束名簿式をご紹介します。

日本では1947年から1980年まで参議院議員通常選挙で行われていた全国区制はいくつか

の理由により変更となり、1983年の参議院選挙から政党名で投票する**厳正拘束名簿式**の比例代表制が採用されました。さらに2001年の第19回参議院議員通常選挙からは**非拘束名簿式**に変更されました。ご存知のように**厳正拘束名簿式**では、有権者は政党名でのみ投票でき、当選者はあらかじめ政党が決めた順位に従って決まっています。これに対し**非拘束名簿式**では有権者は政党名または立候補者名のいずれかで投票することができ個人名で書かれた票は、その候補者が所属する政党の得票となります。

今回の選挙は**非拘束名簿式**になってから6回目の選挙ですが、表に示すように多くは政党名で投票され、候補者名で投票される率は、自由民主党で24%、民進党で26%、公明党ですら49%に過ぎません。事実、今回の選挙活動中にも多くの医師会員から「今回の名簿順位は何位」とか「自民党と書けばいいのでしょ」という言葉を聞いています。このことから現在の**非拘束名簿式**では、とにかく候補者名を書いてもらうことを徹底することの必要性を感じました。仮に公明党並みに50%の会員及びその支持者が候補者名で投票し

てくれれば50万票を獲得し自民党内で一位当選することも夢ではなくなるのではないかと、今後の課題と考えています。

表 各政党の総得票数と候補者個人の得票数の合計およびその割合

政党名	総得票数	個人得票数	率	候補者数	当選者数
自由民主党	20,114,788	4,875,159	24.24%	25	19
民進党	11,750,965	3,000,956	25.54%	22	11
公明党	7,572,960	3,691,668	48.75%	17	7
共産党	6,016,195	417,127	6.93%	42	5
おおさか維新の会	5,153,584	731,220	14.19%	18	4
社会民主党	1,536,238	433,079	28.19%	7	1
生活の党と山本太郎となかまたち	1,067,300	134,985	14.83%	5	1
日本のことを大切に する党	734,024	178,726	24.35%	5	0
新党改革	580,653	376,394	64.82%	9	0
幸福実現党	366,815	60,296	16.44%	2	0
国民怒りの声	466,706	126,368	27.08%	10	0
支持政党なし	647,071	49,369	7.63%	2	0